



アザレアネット通信

くるめ診療情報ネットワーク(愛称:アザレアネット)の設立から、まもなく3年が経過しようとしています。おかげさまで、参加医療機関は100を、登録いただいた患者さんは5千人を超えるなど、アザレアネットも順調に成長を続けております。引き続き協議会におきましては、参加医療機関のより一層の増加を目指して、様々な取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

今号は、5月に開催しました理事会で承認を受けた本年度の事業計画を報告しますとともに、現在、県医師会で取り組まれている「とびうめネット」と「アザレアネット」の相違点を裏面にまとめておりますので、ご一読いただければ幸いです。

くるめ診療情報ネットワーク協議会 会長 田中二三郎

1 理事会を開催しました

平成27年5月19日(火)に久留米医師会館において、平成27年度第1回くるめ診療情報ネットワーク理事会を開催しました。

理事会では、平成26年度事業実績及び決算、情報開示施設の負担金減額にかかる協議会規約の一部改正、アザレアネットの更なる発展・充実に向けた気運を醸成することや、事業の将来の支出等に備えることを目的とした協議会基金規程の制定、平成27年度事業計画及び予算などを審議し、全会一致で承認しています。

なお、新たな協議会規約及び協議会基金規程はホームページに掲載しています。

2 平成27年度事業計画

承認された事業計画の主なものは以下のとおりです。

(1) 協議会運営

理事会を1回、運営委員会を9回予定しています。

(2) 普及促進事業

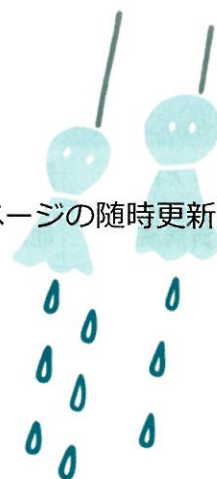
アザレアネットへの加入促進を目的とした体験講習会の実施、ホームページの随時更新及びアザレアネット通信の発行を予定しています。

(3) 調査研究事業

講習会・セミナー参加による情報収集を予定しています。

(4) サポート業務

新規閲覧施設への初期設定等業務を随時行っていきます。



3 現在の閲覧施設及び登録患者数の状況(平成27年6月1日現在)

参加施設数103(設立時43施設)、登録患者数5,553人(設立時1,180人)

4 アザレアネットととびうめネットの違い

とびうめネットは、救急医療支援、多職種連携、災害時バックアップという、3つのシステムで構成されており、現時点で稼動しているのは救急医療支援システムです。

昨年度、医師会会員の皆様を対象に行ったアンケートでも、『「アザレアネット」と「とびうめネット」の違いがわかりにくい』というご意見もあり、今回、現時点における主な相違点について報告します。

◆「アザレアネット」と「とびうめネット(救急医療支援システム)」の主な相違点

	アザレアネット	とびうめネット(救急医療支援システム)
正式名称	くるめ診療情報ネットワーク	福岡県医師会診療情報ネットワーク
事務局	久留米医師会	福岡県メディカルセンター
運用開始	平成24年8月	平成26年4月
主な情報	情報開示施設※における患者情報 ・処方、注射、各種検査結果、報告書、画像、退院サマリー等	かかりつけ医における患者情報 ・連絡先、希望搬送先、病名、処方、身体状況等
情報更新	患者受診時に情報開示施設が更新	かかりつけ医が患者情報を記入し、事務局に送信。その後、事務局が登録。
情報共有者	原則、病院・診療所における医師	救急隊員、病院・診療所における医師

「アザレアネット」と「とびうめネット」の最大の相違点は、取り扱う患者情報の違いです。「アザレアネット」がいわゆる「急性期病院等が保有する患者情報」であるのに対して、とびうめネットは「かかりつけ医が保有する患者情報」となっています。

取り扱う患者情報の違いから、「アザレアネット」と「とびうめネット」は、相互補完的な役割を果たすものと考えられます。

※情報開示施設(平成27年6月現在)

	担当課	電話(0942)	FAX(0942)	備考
聖マリア病院	医療連携患者支援部	34-3453	35-3351	聖マリアヘルスケアセンター含む
新古賀病院	地域医療連携室	38-2292	38-2294	古賀病院21、新古賀クリニック含む
嶋田病院	地域医療連携室	72-2253	0120-706-837	
久留米大学病院	医療連携センター	31-7637	31-7716	



発行者：くるめ診療情報ネットワーク(アザレアネット)協議会事務局
 住所：久留米市櫛原町45 久留米医師会事務局内
 TEL：0942-34-4163 FAX：0942-31-1156
<http://www.azaleanet.info/>